

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスcolor西二見			公表日		2024年 10月 10日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		指定基準に基づき十分なスペースを確保している。	現状を維持します。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		指定基準に基づき職員の配置をしている。	職員の急な欠勤の対応。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		床はクッションフロアーにし、窓には飛散防止シートを貼付している。	現状を維持します。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		毎日の清掃、消毒、手洗い、うがいの徹底を行っている。	現状を維持します。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		該当児がいれば別室に誘導している。	現状を維持します。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		毎日の申し送り、情報共有、毎月の職員会議で業務全般についての報告、改善点の確認をしている。	各職員の意識付け。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		職員会議で情報共有している。	現状を維持します。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		毎日の申し送り、情報共有、毎月の職員会議で業務全般についての報告、改善点の確認をしている。	現状を維持します。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	4	第三者による外部評価は取り入れていないが、他事業所や相談支援事業所、地域住民のアドバイスを積極的に取り入れている。	必要であれば第三者委員会や外部評価委員会も取り入れていきたい。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		月に1度の社内研修の実施。外部研修の参加。	継続して行っています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		リーフレット、ホームページ等で公表している。	継続して行っています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		保護者と面談し、課題やニーズを確認し計画書を作成している。	継続して行っています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		毎月の職員会議、個別支援計画作成会議等で共通理解し、検討を行っている。	継続して行っています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		毎月支援会議をし、支援に活かしている。	継続して行っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		利用記録、週間プログラム評価表等を活用して、確認している。	継続して行っています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		こども一人ひとりに合わせた具体的な支援内容を設定している。	継続して行っています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		全職員の意見を取り入れ全体で立案している。	継続して行っています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		平日は、個別療育、集団療育を中心に、学校休業日や長期休暇は外出や調理、他イベント等集団療育を中心に多彩なプログラムを提供している。	継続して行っています。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		個別療育と集団療育を適宜組み合わせ多彩なプログラムを計画にもりこみ、支援を行っている。	継続して行っています。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		毎日の申し送りで確認している。	継続して行っています。		

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		業務終了後に行い、共有している。	継続して行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		当日の支援内容や様子を個別の利用記録に記入し、児童発達支援管理責任者がチェックし、改善等あれば翌日の申し送りで確認している。	継続して行っています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		半年に1回、保護者面談、モニタリングを行い、支援計画の見直しを行っている。	継続して行っています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	8		毎月プログラムを立案し、支援を行っている。	継続して行っています。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		複数の選択肢を提案し自己決定できるように促している。colorでの生活全般及び多彩なプログラムを通して、自己決定する力が育まれるような支援を行っている。	継続して行っています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		児童発達支援管理責任者と児童指導員が参加している。	継続して行っています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		適宜又、緊急性の高い事案の時にはすぐに連携を取っている。	継続して行っています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		適宜行っている。	継続して行っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	4	必要に応じて、担当者会議等で情報共有している。	継続して行っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8		必要に応じて、情報共有している。	継続して行っています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		8	今の所していない。	必要であれば検討して行きます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	8		地域交流会を定期的に開催して交流の場を提供している。地域のイベントに参加している。	継続して行っています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	3	児発管が子ども部会に参加している。	継続して行っています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		日々の送迎時や連絡帳、面談、電話等で情報共有している。	継続して行っています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		保護者交流会の時に実施している。	継続して行っています。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		運営規定や利用者負担等については見学や契約時に説明し、支援プログラムについては毎月のカレンダーで周知している。	継続して行っています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		日々の送迎時や連絡帳、面談、電話等でしている。	継続して行っています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		面談時にしている。	継続して行っています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		日々の送迎時や連絡帳、面談、電話等でしている。	継続して行っています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		定期的に地域交流会や保護者交流会、親子イベントを開催し保護者同士の連携支援を行っている。	継続して行っています。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		契約時に周知している。又、苦情対応の体制を整えている。	継続して行っています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8		毎月のカレンダー、HP、SNS等で発信している。	継続して行っています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		鍵付きの書庫に保管している。	継続して行っています。

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		必要に応じて、視覚支援を行う等の配慮を行っている。	継続して行っています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8		定期的に地域交流会を開催している。	継続して行っています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		社内研修を行っている。又、訓練や研修の様子をカレンダーやSNS等で発信し周知している。	継続して行っています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		年3回避難訓練（地震、災害、風水害）を行っている。又、BCP（自然災害、感染症）を策定し、それに基づいた社内研修、訓練を行っている。	継続して行っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		契約時に確認している。以後は、日々の送迎時や連絡帳、面談、電話等で行っている。	継続して行っています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		8	現在の所指示書はない。	今後該当者があれば提出してもらう。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		社内研修を行い、支援に活かしている。又、毎日の申し送りや、毎月の職員会議にて確認し支援に活かしている。	継続して行っています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		社内研修を行っている。又、訓練や研修の様子をカレンダーやSNS等で発信し周知している。	継続して行っています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		毎月の職員会議で情報共有し、検討している。	継続して行っています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		年1回社内研修をしている。	継続して行っています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		8	身体拘束について、年1回社内研修を行っている。又、身体拘束についての説明は契約時に行っている。	順次計画書に記載して行きます。